

# 高知県教育委員会 会議録

平成26年度第7回教育委員協議会

場所：須崎市立市民文化会館大会議室

## (1) 開会及び閉会に関する事項

開会 平成26年7月8日(月) 18:33

閉会 平成26年7月8日(月) 20:10

## (2) 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	教育委員長	小島 一久
	委員	竹島 晶代
	委員	八田 章光
	委員	中橋 紅美
	委員(教育長)	田村 壮児
欠席委員	委員	久松 朋水

## (3) 高知県教育委員会会議規則第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	勝賀瀬 淳
〃	教育次長	中山 雅需
〃	教育次長	永野 隆史
〃	参事兼教職員・福利課長	彼末 一明
〃	教育政策課長	有澤 功
〃	高等学校課課長	藤中 雄輔
〃	高等学校課企画監	坂本 寿一
〃	教育政策課課長補佐	中平 貢正
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	教育政策課チーフ	溝渕 松男(会議録作成)
〃	教育政策課主任指導主事	葛原 彩子(会議録作成)

## (4) 教育委員長の依頼により出席した者

須崎高等学校校関係者	保護者代表(3名)
	鳩友会代表(2名)
須崎工業高等学校関係者	保護者代表(4名)
	同窓会代表(2名)

【冒頭】

委員長 教育委員協議会を開催する。

教育長 (あいさつ)

高等学校再編振興計画に関します、県の教育委員協議会は、本年度7回目となっております。

須崎高等学校と須崎工業高等学校の関係者の皆様におかれましては6月3日に県庁の正庁ホールまでご足労いただいて依頼、2回目ということになります。ちょうど大型の台風8号が接近中という気ぜわしい中でご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の会でございますが、前回の会で皆様に、須崎高等学校と須崎工業高等学校の統合の問題につきまして、様々なご意見やご要望、ご質問をいただきました。特に、須崎工業高等学校の同窓会会長様からはご意見・ご質問を文書でいただきましたので、3月に、同じく同窓会とPTAの会長様から頂いた要望書とあわせて、県教育委員会としてご回答をしたいと思っております。そのうえで、統合後の新しい学校の姿についての、より具体的な内容についてもお示しさせていただき、率直な意見交換をさせていただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【協議 県立高等学校再編振興計画について（高等学校課）】

○高等学校課企画監 説明

○須崎高等学校関係者 須崎工業高等学校関係者との意見交換

須崎高校 鳩友会代表	先ほど、説明していただいた須崎高校の資料2のQ3の中に「具体的には、1年次の習熟度別授業を現在の数学と英語に加えて、国語も実施し、2年次からは難関大学への進学も見据えた少人数クラスを新たに設け」とあるが、高校に入学した時点から難関大学を目指す生徒もたくさんいると思う。1年次からこのような体制を取れないのか。公立学校は土曜日が休みとなっているが、私立学校は土曜日も授業をしているので、時間的なハンディがある。習熟度授業のくくりの中で1年間という時間を考えると時間的なハンディが更にできると思うが、その点はどのように考えているのか。
事務局	これは、あくまでも例示である。もちろん1年次からそのようなクラスの設定も考えている。実際の生徒の状況を見ながら、学校としっかりと協議をしてそのようなクラスを設置できる条件が整えば十分に考えられると思う。
須崎高校 鳩友会代表	例が適当でないかもしれないが、お店の看板を見ると何を販売しているか分かる。中学生や小学生から見ても須崎高校と須崎工業高校が一緒になって、本格的に本気で取り組むのだとよく分かるということが、一つの大きな指針になるのではないかと。あまり悠長に考えずに、時間と中身の勝負であるのでその点の検討をお願いします。
事務局	この意見も踏まえて、進学の支援体制をつくっていきたいと思うのでご支援をよろしくお願いいたします。
須崎高校	先ほどの意見と同じような内容になるが、1年次からの特進コースの設置を希

保護者代表	望する。県教委のホームページの中の再編振興に関するアンケートを見た。県教委が中学生、高校生、中学生の保護者、高校生の保護者から取ったアンケートの集計結果である。その中で、中学生の保護者に対する「進学する高校を選択する要素」という質問に関して、第一に挙げているのが「就職や進学の実績」という内容であった。このことから須崎市、高吾地区から高知市内に通学している学生が多いので、進学面を打ち出し、新しい学校に来てもらえるようにしてもらいたい。魅力のある特進クラスという形で1年次から目標をもって進学に取り組むコースの設置をお願いする。
事務局	同じ答えになるが、このような声が非常に強いということをしっかり受けとめ、クラス名は仮に難関大学コースとしているが、どのような名前であれば、中学生やその保護者に対して、新しい学校の取組がしっかり伝わるかも検討していく。
委員長	進学に対する充実した指導という要望が出たが、就職に対する意見もお願いしたい。
須崎工業高校 保護者代表	資料3の1の(2)についてである。普通科においても工業科においても就職率100%とあるが、工業科の先輩が一流企業などに、この何十年間の間にかなり行っていると思う。その中で就職先を先輩のついでで見つけることもあったと思う。統合になった場合、普通科の生徒の中で、就職を希望する生徒も出てくるので、1つの学校になれば、工業科で培ってきた求人に対して、普通科の生徒が希望し、成績順で普通科の生徒が優先され、良い企業に就職するようなことがあるのではないかと思う。
事務局	他県の事例で、工業科があることで普通科の生徒にも求人が開かれているというメリットがある。普通科の生徒は進学希望者が多く、就職希望者が少ない。工業関係で求人票を出している企業は、工業科で基本的な技術をしっかり身に付けた生徒を欲している。今ある求人をも有効に活用するために、普通科の生徒にも広げているという声を聞いている。企業が求めることは、求人票のそれぞれの項目に示されているので、必ずしも校内の選考の中で、通常の成績だけで決まるということではなく、今までの工業系の求人は、主に工業科の生徒が活用するのではないかと考えている。一部の求人をも普通科でも活用できれば、地域の生徒の進路の実現にしっかりとつなげていけると考えている。
委員長	須崎工業は、就職の実績は素晴らしく、県や市町村の幹部を輩出するなど、現在も継続されている。普通科と統合した場合、その実績を乗っ取られる感じがしないでもない。普通科の就職希望の生徒にはメリットが大きいことは事実である。工業科の生徒は学んだことを活かして就職できるか、今までの実績が継続できるかが心配であると思うので、そこはきちっとしていかなければならない。専門的な知識を学んだということは、それなりの評価につながる。普通科にとっても工業科の就職指導のノウハウを受けるメリットもある。
事務局	高等学校課として現在、企業の訪問を県外企業も含めて行っているが、企業の方々の特に工業系の学校に対する期待が大きい。伝統のある須崎工業高校で

<p>須崎工業高校 保護者代表 事務局</p>	<p>は、先輩が様々な企業に在中で、須崎工業高校の学科を指定して生徒が欲しいという声がある。3年間積み上げてきた学習内容は、普通科の生徒とは違う。特化された部分での求人、特に指定校としての求人が、たくさん工業高校にきている。その点においては、工業高校で3年間学ぶことの強みである。</p> <p>例えば、製造系の会社において、普通科も含めて人材が欲しいというときには、普通科の生徒にも求人を広げることができる。普通科の生徒に、工業科の実習や3年間で育てあげる指導のノウハウを伝えていくこともメリットである。全体としての求人数が増えることは普通科の生徒にとってメリットである。工業科にとっては、普通科に求人が奪われるような懸念があるとの意見であったが、工業系の専門性を活かした人材を求める企業は、工業科の生徒を第一に考えている。統合した場合には、学校の中でうまく整理できることだと考える。</p> <p>資料1のQ6で「野球部などをはじめ多くの部活動が全国大会で活躍することを目指したいと考えております」との回答をいただいているが、具体的にナイター設備をつくる、有名な監督を呼ぶなど、具体的な案があつての回答なのか。</p> <p>現在は、具体的に有名な指導者を呼ぶなどということまで考えての案ではない。資料に書いている意味は、両校の統合で生徒が増えることで部活動が活発になるので、更に上位を目指せるような部活動にしていきたいということである。ハード面については、ナイター設備についてまでは検討していないが、グラウンドの拡張を含め、統合後の検討委員会の中で要望を出してもらい決めていきたい。</p>
<p>委員長 須崎高校 鳩友会代表</p>	<p>施設設備や指導者の充実については、内容によっては可能性を秘めている。</p> <p>目指すだけなら、誰でも目指す。大学で言えば、東大や京大を目指す、野球部は甲子園を目指す。今日、仕事を終え疲れてこの会に出席している。目指すことだけ言うのではもったいない。両校が一緒になって、このようなものをつくるということを示してもらいたい。文書ではなんとでも書ける。今日帰って検討してもらい次の会には、「確実にナイター設備を設置する」など言ってもらいたい。それくらいのことを言ってもらわないと、なぜ疲れてこの会に参加しているか分からなくなる。その点を強く要望しておく。</p>
<p>教育長</p>	<p>例えばナイター設備の整備については、予算が伴うので今の時点では具体的なことを申し上げることはできない。最初に申しあげたように地域の拠点としてしっかりした学校をつくっていきたいと覚悟を持っているので、具体的な話については、統合が決まった段階でご意見を聞く場を設けたい。今、約束できることは、「責任をもって良い学校にしていく」ということであるので理解をいただきたい。</p>
<p>須崎高校 鳩友会代表</p>	<p>教育長を信頼している。今の話は皆さん聞いたので了承する。</p>
<p>須崎工業高校 保護者代表</p>	<p>資料3の1の(1)普通科から国公立大学合格者20名を目標、工業科から国公立大学合格者10名を目標とあるが、現在須崎工業高校の生徒はほぼ就職を目指しているだろうと思う。国公立大学合格者10名を目標として取り組むよ</p>

事務局	<p>りも、工業科の就職率 100%を目指した方が具体的ではないか。工業科の進学は更に上をいく専門学校を選択するではないか。</p> <p>普通科高校と一緒にすることにより進学に向けたノウハウが活用できるということで、現在、国公立大学に進学している生徒は少ないが、そのようなニーズに応じていきたいということで資料のように書かせてもらっている。</p> <p>高知県には高知工科大学という工業系を中心とした公立の大学がある。県内の高校生にたくさん進学してもらいたいのので、その支援をしっかりとしたいと考えている。言われたように就職もしっかり支援していきたい。回答にもあるが、須崎工業高校の強みが就職であることは認識している。それに加え、今後この地域の生徒に新しい高校に来てもらうために、大学進学も視野に入れたい。資料3の2(3)の進学への取組の2番目の○に書いているように、論理的な思考力とか表現力を育成し、小論文での力を付け、進学を希望する生徒が出てくれば、しっかり希望を実現させていきたい。決して進学に重きを置くのではなく、就職に対しても今までのようにしっかりと取り組んだうえでのことである。</p>
委員	<p>工業系の就職でも企業の側は、大学卒業生を優遇して採用することが最近増えてきている。工業高校で学んでいる生徒の中には、入学した時は進学をあまり意識していなくても、先輩などの話を聞くうちに大学で勉強して就職したいと考えが変わってくる生徒もたくさんいる。高知工業高校、高知東工業高校はぜひぶん進学に力を入れ、大学進学ができるようにしている。今、高知工科大学では、普通科からもたくさん受験してくるので、工業高校卒業生の合格が難しくなっている。しっかり受験勉強しないと入学できない。須崎工業高校から毎年数名が高知工科大学に進学しているが、統合となれば、普通科と一緒にレベルの高い教育を受けるチャンスを与え、そこで勉強して高知工科大学へ入学してくる生徒が増えることを期待している。</p>
須崎高校 保護者代表	<p>須崎高校は、女子生徒の方が多いと思う。進学を希望する生徒の中でも、短大や専門学校に進学する生徒、就職する生徒もいる。統合後には、就職に有利な資格を取得できるようにしてもらいたい。須崎工業では、ホームヘルパー2級（現 介護職員初任者研修）の資格が取得できると聞いている。普通科で進学を希望していても、途中で就職に変わることがある。その時に、女子でも資格が取れるようなことを考えてもらいたい。工業高校と統合してのメリットとして、普通科の女子生徒にも取得できる資格を設けてもらえれば保護者としてはありがたい。</p>
委員長 須崎高校 保護者	<p>普通科の生徒が資格を取れる制度がないかということか。</p> <p>工業系の資格になると男子生徒が中心になると思う。普通科の生徒の中にも、途中で進学から就職希望に変わる生徒がいる。普通科の生徒は、資格を持っていないので就職に弱い。資格を取得できるメリットがあればよい。</p>
事務局	<p>須崎工業高校は資格取得にかなり力を入れており、指導のノウハウをもっているため、共有できるものはしっかりと共有し、工業以外の資格についても検討</p>

<p>須崎高校 保護者代表 須崎高校 保護者代表</p>	<p>したい。福祉、介護の人材育成の要望は、地域を回った時に話をいただいている。それらも踏まえ、どのような資格が普通科の生徒が取り組めるのかを、学校と連携してしっかりと協議していきたい。また、危険物の資格は普通科の生徒も十分挑戦できるので、ぜひ、女子生徒にもチャレンジしてもらいたい。よろしく願います。</p> <p>前回も聞いたが、県立高等学校再編振興検討委員会からの報告書には、総合学科の配置について「現在の配置を維持することが望ましい」との報告になっている。今回、須崎高校は、須崎工業高校と統合して普通科になる。須崎高校は以前普通科であり、現在は総合学科である。総合学科高校の意義や位置付けはどうか、高知県の教育を考えてどうなのかを聞きたい。普通科でなくても総合学科でも大学進学への取組ができると思うが、その辺りの考え方を聞きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>もう一点、確かに少子化であるが、この旧高吾学区から 40%~50%の生徒が高知市の高校に進学しているとの説明があった。もし、全員がこの地域に残るのであれば、2校とも共存できるのか、その当たりの推計はどうなっているのか。</p> <p>総合学科は複数の系列をおき、多様な生徒の進路希望に対応できる学科であり、生徒にとっては有効なものであると評価している。しかし、そのためには複数の系列を置くことが前提である。生徒数が少なくなると、少人数の系列をいかに維持するかが課題になる。須崎高校の状況をみると進学を希望する生徒が多いので、普通科の方が中学生に対して、より明確に進学に向けた特色が示せるのではないかと考える。普通科においてコース、大きく分ければ文系、理系のコースなどがあるが、それ以外の特色を出すコースを置くことができる。このような学校規模になれば、どちらがより望ましいか、他にも総合学科の学校があるので、今後、生徒数の動向を見ながら検討していかなければならない。総合学科でも進学体制は取れるが、生徒数を考えると普通科の方がより特色を出しやすいということを考え普通科への学科改編を示している。今の須崎高校も進学の系列である文理Ⅰ型をおき取り組んでいるが、より分かりやすい難関大学クラスというものを設定していくことを一つの案として示している。</p>
<p>教育長</p>	<p>地域の生徒が全員地元に残れば2校存続できるか検討したのかとの話であるが、今この地域の生徒の約 45%が両校に進学している。我々が示している統合案では、将来にわたって生徒数が減少する中で、地元の生徒の約 65%が残ることを考えている。今の1.5倍の地元の生徒が残ることを前提にこのような学校にしていきたいとして示している。そのためにも魅力ある学校をつくっていき、より地元の生徒にも多く残ってもらいたいとの考え方である。全員残ることは理論上まったく無いことではないが、現状とかけ離れたことを前提に考えることは適当ではない。我々としてはできるだけ努力をしていく中で6学級は維持するところまで頑張れるのではないかと検討している。</p>

委員長	以前より進学対策に軸足を移したものである。総合学科の場合、幅広い層の生徒に対応できる。もう少し、進学対策に重点を置いた形になる場合には普通科の方がやりやすいという判断である。
須崎高校 保護者代表	生徒数の多い総合学科の高校はよいが、生徒数の少ない総合学科の高校もある。高P連の総会で質問があったが、具体的な総合学科の位置付けをはっきりしておかないと、須崎高校は普通科から総合学科になり、また普通科に戻るようになるので、きちっと説明ができるようにしてもらいたい。65%の生徒が残ることが前提と話があったが、県立高等学校再編振興検討委員会からの報告の前提は高知市への生徒の集中を無くし、地元への進学者を増やすことにあり、そのことにより再編振興計画案ができたと思う。それであれば65%が適当であるか分からないが、できるだけ多くの生徒が地元の高校に残る対策を県教委として取ってもらいたい。1年、2年の短いスパンでは難しいと思うが、地元の高校に残り、そこで自分の進路を自分で切り開けるような高校にってもらいたい。
教育長	おっしゃる通りの考え方で進めている。どうしても地元以外の高校に進学したい生徒は別として、例えば須崎市から高知市内の高校に通うには定期代もいるので、できるだけ地元の高校で学んで、地元の高校で将来の希望をかなえられる体制を整えていきたいと考えている。
須崎工業高校 同窓会代表	今日の資料を見て2点聞きたい。1点目は、高知南高校は中学校を併設しているので、案では最終的な統合は、須崎高校と須崎工業高校との統合の時期より3年間遅れる。先に、郡部の方の生徒数が減ってくる中で統合が進んでいくので、統合の時期は同じ方が良いのではないかと。できれば、高知南中高校と高知西高校の統合時期まで伸ばすことを検討してもらいたい。3年延びることで、普通高校と工業高校が統合した効果がでてくるのではないかと考える。 もう一点は、前回も言わせてもらったが、工業高校は縦割り、普通高校は横割りというようなことがある。工業高校の校風としては、機械科等、実習で大きな音が出る中で、その隣で他の学科がうるさいと思いながら勉強しているが、お互いのことを分かっているので、あまり支障はない。ところが、統合することで、普通科の生徒は静かな環境で学習していたのに、急に工業科の大きな音が聞こえる環境で授業しなければならない。工業科は遠慮して実習に取り組まなければならないし、一方で普通科はやかましいなかで勉強ができないとの心配がない訳でもない。そのようなことも十分考えてもらい、今後の検討課題としてもらいたい。
事務局	統合時期を3年延ばしてとの意見であったが、現在、生徒数が減少する中で、今後も更に減少することが見込まれることから、現時点での統合案を進めていきたい。工業の実習における騒音等の課題については、今後のハード面の整備の中で防音対策をどのようにするかなどを考えていく。
教育長	補足である。須崎高校と須崎工業高校の統合は、高知南高校と高知西高校の統合より3年早くなるが、高知南高校には中学校があり、中学校に既に入学して

	<p>いる生徒が、今の学校体制の状態です卒業することを保障したいと考えている。須崎高校と須崎工業高校は高校だけであるので3年間の違いがでていいる。高知南中高校と高知西高校もできるだけ早く統合したいが、このような理由があり3年遅れるということである。</p>
<p>委員長</p>	<p>普通科と工業科は体質や校風が違う。須崎工業高校では就職の話が出ていいるが、工業科教育と普通科教育では、職業観、勤労観が全然違う。その中で普通科の生徒も統合後工業科の雰囲気の中で学習することにより、職業観、勤労観が醸成できる。一方で、工業科でも大学進学が増えてくると予想される。高知工業高校では進学率が高くなっている。須崎工業高校も大学進学する生徒がいいる。これからは大学進学が増えてくる可能性が高いので、須崎高校の持っている進学に対する考え方が、同じ校舎で学ぶことにより、身に付けられるのではないか。相互に作用し合えば立派な学校になる。学校運営をする管理職や教員のしっかりした意識が無くてはならないが、そのような学校になるのではないかと思う。</p>
<p>須崎工業高校 同窓会代表</p>	<p>心配をしていいるということて理解して欲しい。3年間の遅れについては、十分承知していいるが高知市の高校の定員が減らず今までのままであれば、高知市内に更に行くて心配をしていいる。PTAや同窓会は、いいろいろ心配していいることをご理解していただきたい。統合して良かったねという学校にしなければならい。しっかりした準備をして後に後悔を残さないような統合にしなければならいので、そこのあたりも考えてもらいたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>しっかりと準備をしていいきたいので、よろしくお願しいたい。</p>
<p>須崎高校 鳩友会代表 事務局</p>	<p>ソフトの面ばかり話をしてきたが、計画のハードの面はどのように考えていいるのか。</p> <p>先ほどの回答の中で説明したが、統合の了解を得た後に検討委員会という形のものて立ち上げ、その中で具体的に検討をさせてもらうことて考えていいる。内容については、前回の資料の中で説明したが、校舎の増改築、設備の更新、グラウンドの拡張、新たな通学路の整備等であり、具体的に進めて行く際には両校の関係者と協議していきたくて考えていいる。</p>
<p>須崎高校 鳩友会代表</p>	<p>津野町長と統合の話をした際に、工業高校の敷地に統合となった場合、北側の津野町から通学する生徒のバスのルート変更をしてもらわないといけないということが出た。具体的な話の中で出ると思うが、ソフトの面ばかりの説明であったが、最低限のハード面の要望も聞く耳を持ってもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>当然、関係者の要望を聞かなくてはならい。そのような場として検討委員会を設置したい。勝手に進める訳ではない。統合の了解をもらった後になるが、前回の資料の中のスケジュール示したとおり、来年度からのハード整備の実施に向けて、今年度、来年度の当初予算要求の中で基本設計を上げて行く。それは、整備をどのようにしていくかを盛り込んだ設計となるので、今後もご意見をいただきたい。</p>
<p>須崎工業高校</p>	<p>須崎工業高校から提出した要望書等への回答に対してありがたく思っている。</p>

同窓会代表	<p>また、回答があまりにも素晴らしく、何を発言してよいのか分からなくなっている。須崎高校の方も須崎工業高校の方もそれぞれ考えがあると思う。生徒数の減少という大きな課題がある中でより良い教育環境の具現化、実現化を柱とし、そのためにいろいろな形のことを書かれている。私自身の考えであるが、教育は人が人をつくる現場であると思うので、体育館があるから、校舎があるからといって良い教育ができるものとは考えていない。須崎高校も須崎工業高校も先生方がこの場に来ていると思うが、この回答にあるような教育方針、教育活動ができるスタッフを揃えられるかどうかは課題である。絵に描いた餅になってしまい、この回答とかけ離れた教育活動が行われる学校になってしまったら大変な失望である。ぜひとも教育は人が人をつくるのであり、工業製品が人をつくるのではないとの基本的な考えを持ち、この回答に書いてある学校を実現できるのかどうかを教育現場でしっかり押さえてもらわなければならない。ここで書いてあることが将来的に実現できるということでの回答だと思うので、ぜひお願いしたい。回答へのお礼と、今後に向けてのお願いである。これから具体策が検討されると思うが、基本的な考え方を忘れないで欲しい。</p>
教育長	<p>もし、この統合案が了解していただけるのであれば、皆さんのそれぞれの学校への思いがあったうえでの了解であることであることをしっかりと受け止め、高吾地域の拠点となる学校をつくっていききたい。それにふさわしいハード面、ソフト面、スタッフを含めて最大の努力をしていききたいので、ぜひ理解いただきたい。よろしくお願いしたい。</p>
委員長	<p>精一杯努力しなければならない。</p>
須崎工業高校 保護者代表	<p>今、須崎工業高校は津波が来た時の地域の避難場所となっている。先月、地域の方、須崎市の消防関係の方、県の方などとの会があり、地域が学校に求めるもの、施設や備品についてもいろいろと検討しているところである。学校施設については、課が違うので分からないかもしれないが、そちらの方とも意見交換をしてもらい、地域のためにも良くなる学校施設にしてもらいたい。</p>
教育長	<p>教育委員会内で当然話し合いをしていくし、危機管理部局とも話をしていく。防災面についての地域への貢献も考えている。最初の説明にもあったがカヌーの大会の様に、地域の拠点校として、いろいろな地域の活動に係わっていくようなことも皆様方の理解をいただいたうえで考えていきたい。</p>
委員長	<p>実際、新しい取組については様々な意見を聞いていく必要がある。今後、意見を聞く場としては、検討委員会という案があった。今後はその場が中心となるのか。</p>
事務局	<p>資料3の下の方の3の(1)に書いてあるが、統合が認められれば、仮称であるが統合検討委員会を速やかに設置する。どのようなメンバーになどは検討しなければならないが、統合検討委員会が中心となりハード面とか校名とかを順次検討していきたい。</p>
委員長 事務局	<p>これからもいろいろな意見を聞く場があるということで理解してよろしいか。当然そのような場がある。</p>

須崎高校 保護者代表 教育長	須崎高校と須崎工業高校、高知南中高校と高知西高校の統合案がでているが、両方とも同じような形で進んでいくという理解で良いか。 全体の話か。
須崎高校 保護者代表 教育長	例えば、一方が駄目になり、一方が統合するということはないのか。  高知南中高校と高知西高校との統合について理解をいただくように話をしている。これからも最大限の話をしていく。
須崎高校 保護者代表	分かった。ある程度具体的な統合後の学校のイメージも示されて、そちらの方に話が進んでいるが、基本的に今の生徒たちの思いの中には今のまま学校を残して欲しいという気持ちもあるので、そのあたりの気持ちを含んだうえで今後検討してもらいたい。  また、もし須崎高校が須崎工業高校と統合して山の手の方に行くことになれば、これまで新荘地域における地域づくりの中で須崎高校が果たしてきた役割は防災面を含めて大きかったので、須崎市として取り組まなければならない問題であるが、県の方も力添えをしてもらいたいと考えている。  先ほど、須崎工業高校の保護者の方から発言があったが、須崎工業高校については、指定の緊急避難場所の協定は須崎市として結んでいるが、今後地域の中で防災の役目を果たしていくことになれば、指定の避難場所として話が出てくるだろう。おそらく、県の高校でそのような協定を結んでいる高校はないと思うが、統合となれば、本当に南海トラフ地震が起こった時、学校が指定の避難場所になり、そこで生活していくことになると思うので、そのことも考えて今後検討してもらいたい。よろしく願いしたい。
教育長 委員長	いずれにしても須崎市と十分協議し考えていきたい。  貴重なご意見ありがとうございます。まだこれからのことなので、いろいろなかたちで皆さんの意見を聞く機会を設けることが出てくると思うが、県も地域の方々も同一步調で良い学校にしていかなければならないのでご理解、ご協力をよろしく願いしたい。今日はお忙しい中、長時間ありがとうございました。